



子どもたちに 楽しい思い出を

都竹 郁子さん

キッズクラブひまわり代表



都竹さん(写真中央)とスタッフのみなさん

かがや 輝く女性

高山で活躍する
みなさんの今

県は県内で活躍する女性や子育てを応援する企業を平成26年から認定。うち、市内には21人の女性と3つの企業があります。高山で活躍する“みなさんの今”を連載で紹介します。

平成26年より、国府町宮地地区で子育てボランティア「キッズクラブひまわり」を運営する都竹さん。毎月第2土曜日に、同地区に住む小学生を対象に、さまざまな体験活動を行っています。

同地区でも人口減少、少子高齢化が進むなか、子どもたちが元気に遊ぶ声が聞こえる地域づくりができないかと、当時の町内会女性部役員3人で立ち上げました。

キッズクラブでは、子どもも地域の一員として対等に接しています。毎月会うことで、子どもの変化・成長が良く分かります。

と笑顔で話す都竹さん。

利害関係のない大人と接することで、子どもたちは学校や家庭とは違う一面を見せると言います。子どもたちが仲間意識を持ちながら互いに支え合う力を養う場を作っています。

子どもの頃の記憶は年を重ねても色褪せることはありません。一つでも楽しい思い出が残ればいいですね。

クラブのモットーは「遊ぶこと、本物を見ること」田んぼの「ぼた」でのソリ遊びやお寺での座禅体験、地域のお年寄りをおもてなしするキッズカフェ、元理科の先生による星空観察、大工さんによる竹馬づくり。路線バスを乗り継いで、清見町のプラネタリウムまで行ったこともあります。

子どもたちが元氣だと地域も元氣になるんです。クラブが立ち上がったからは、以前よりも母親同士の繋がりが密になりました。また、お年寄りとの交流の輪も広がりました。

大人が地域の子どもの知り、子どもが地域の大人を知ること、子どもたちを見守る環境ができます。今では、挨拶を交わしながら通学を見守る姿も見られるようになりました。

他人だけでなく、自分の事を知っていて安心できる大人がいることに気づいて欲しい。地域の大人が「子どもたち一人ひとりが大切」と思っていることが、子どもたちに伝わるといいですね。

今後も宮地地区で活動を続けていきたいと語る都竹さん。スタッフとともに、子どもたちの願いが詰まった短冊を飾り付けながら、次の企画に思いを馳せます。

広報 市長だより

79

早めの避難が身を守る
高山市長 國島芳明

7月3日から続いた大雨により、市内各地で土砂崩れや法面崩壊が発生し、住宅や事業所、農地、山林など、多くの被害が発生しました。被災された方には、衷心よりお見舞い申し上げます。

今回の大雨では、4日に災害対策本部を設置して以降、約3万9,000人に避難指示を、また、約1万6,000人に避難勧告を発令し、市内78カ所の避難所を開設しました。

避難に際しましては、町内会長や消防団のみなさんが核となり、迅速かつ安全に地域住民を誘導いただきましたことを深くお礼申し上げます。

また、避難所運営にあたっては、まちづくり協議会のみなさんなどが率先対応していただき、円滑な運営が図られました。改めて感謝申し上げます。大切な命を守るため、避難することを躊躇せず、早めの行動を心がけていただきたいと思います。

引き続き、市民の皆様の安全を守ることはもちろん、高山を訪れる方に対しても安全対策を講じていく所存です。今後とも国や県のご支援をいただきながら早期復旧を進めるとともに、被害に遭われた皆様の日常生活の一日も早い回復に取り組んでまいります。

市長室へ ようこそ

●市民と市長の面談日



8月6日(月)

午後1時30分～4時15分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

検索